

- 問1 1910年に日本が韓国併合を行う直接的なきっかけとなり、朝鮮半島への影響力を強めることとなった1904年から始まった戦争を何という？
- 問2 1911年に清朝が滅亡するきっかけとなり、孫文が臨時大総統となった革命を何という？
- 問3 1885年に導入され、初代内閣総理大臣として伊藤博文が選ばれた行政組織の仕組みを何という？
- 問4 明治初期、薩摩藩や長州藩などの特定藩出身者が権力を独占していた政治体制を何という？
- 問5 1875年に日本が千島列島の領有を確定させるために条約を結んだ国を何という？
- 問6 君主の権力が強いプロイセンの憲法を参考に、明治政府が作成を進めた憲法を何という？
- 問7 明治時代、足尾銅山から流れ出た鉱毒が原因で発生し、田中正造らが国に解決を訴えた日本初の本格的な環境問題を何という？
- 問8 明治時代、アメリカ向けに盛んに輸出され、日本の近代的な経済発展を支えた重要な輸出品は何という？
- 問9 外務卿として欧化政策を推し進め、鹿鳴館を建設した人物は誰？
- 問10 明治政府が近代化の一環として掲げた、官営工場の建設や産業の育成を行う政策を何という？
- 問11 明治政府が設立し、当初は日本画が中心でしたが、後に西洋画の教育も取り入れるようになった美術教育機関を何という？
- 問12 大日本帝国憲法下において、貴族院とともに立法権を行使し、貴族院と対等な権限を持っていた国民の選挙で選ばれる議院を何という？
- 問13 フランスで印象派の画風を学び、帰国後に日本画壇で「湖畔」などを発表して近代洋画の先駆者となった画家は誰？
- 問14 1910年の韓国併合によって日本が完全に支配下に置き、その後、統治のために朝鮮総督府が置かれた国を何という？
- 問15 明治時代にドイツへ留学し、近代的な医学を学ぶとともに、『舞姫』などの優れた小説も書き上げた人物は誰？
- 問16 帝国議会において衆議院と並んで二院制を構成し、皇族や華族などで組織された議院を何という？
- 問17 福岡県に建設され、日清戦争の賠償金を元手に操業を開始した、日本近代化の象徴とも言える工場を何という？
- 問18 明治時代の日本の社会や国際関係を鋭く批判し、多くの風刺画を残したフランス人画家は誰？

答え合わせ・解説

問1	答え 日露戦争	1904年に勃発したこの戦争は、陸上での激戦に加え、日本海海戦での勝利により日本の優位が確定しました。アメリカの仲介によりポーツマス条約が結ばれ、日本はロシアから韓国での指導権を認められました。
問2	答え 辛亥革命	孫文を中心とする革命勢力が起こした辛亥革命により、数千続いた皇帝支配が終わりました。その後、1912年に中華民国が建国され、孫文が臨時大總統に就任しました。これはアジアにおいて最初の共和制国家の樹立でした。
問3	答え 内閣制度	1885年、それまでの職制を廃止して内閣制度が創設されました。初代内閣総理大臣には伊藤博文が任命され、各省庁の大臣をまとめる責任者として行政の統括が行われるようになりました。これにより、近代的な政府の仕組みが本格的に完成しました。
問4	答え 有司専制	この体制は、少数の官僚が民意を聞かずに決定を下していたため、「有司（官僚）による専制政治」を意味する有司専制と呼ばれました。国民の代表による議会がないことに対し、多くの人々から不満が高まりました。
問5	答え ロシア	1875年、日本とロシアの間で「樺太・千島交換条約」が結ばれました。この条約により、樺太全島はロシア領とする代わりに、千島列島を日本領とすることが確定しました。
問6	答え 大日本帝国憲法	中心人物となった伊藤博文は、君主権が強く、議会の権限が抑えられたドイツ（プロイセン）の憲法を高く評価しました。その結果、1889年に発布された大日本帝国憲法では、天皇が統治権をもち、陸海軍の統帥権なども天皇に属するという体制が規定されました。
問7	答え 公害事件	栃木県の足尾銅山から流出した鉱毒により、渡良瀬川周辺の田畑が汚染され、住民が苦しみました。田中正造は、国会で何度もこの問題を追及し、被害者と連携して国に解決を求めました。これは日本初の本格的な環境被害として記録されています。
問8	答え 生糸	生糸は蚕の繭からとれる繊維で、アメリカの繊維産業に大量に輸出されました。日本国内では、機械化された工場が建設され、大量生産体制が整えられました。この貿易の利益が、重工業化への資金源となりました。
問9	答え 井上馨	井上馨は外務卿として、西洋式の舞踏会や宴会を行う施設「鹿鳴館」を建設し、欧米の外交官をもてなしました。この政策は欧化政策と呼ばれ、外見や社会の制度を急速に西洋へ近づけることを目指しました。
問10	答え 殖産興業	殖産興業政策として、富岡製糸場などの官営工場を建設しました。また、鉄道の敷設や郵便制度の整備、電信の普及など、産業の発展を支えるインフラも一気に整えられました。
問11	答え 東京美術学校	東京美術学校は、岡倉天心らの尽力により設立されました。初期は日本画を中心に教育していましたが、時代のニーズに合わせて西洋画の学科も設置され、日本美術と西洋美術を同時に学べる環境が整えられました。
問12	答え 衆議院	衆議院は制限選挙（直接国税を納める男子のみ）で選ばれた議員により構成されました。貴族院と対等な立法権を持ち、特に予算案については衆議院の議決が重視される仕組みとなっていました。
問13	答え 黒田清輝	黒田清輝はフランスへ留学し、戸外制作や明るい色彩を特徴とする「印象派」の技法を学びました。帰国後、彼は「湖畔」などの作品を発表し、それまでの日本の油絵とは異なる、光の輝きを表現する新しい画風を日本に定着させました。また、美術団体である「白馬会」を結成するなど、後進の育成や展示会の開催を通じて日本の洋画界を牽引しました。
問14	答え 大韓帝国	しかし、その後の日露戦争で日本が勝利すると、韓国併合への動きが加速しました。1910年、日本は日韓併合条約を強制的に締結し、大韓帝国を廃止しました。統治の拠点として設置されたのが朝鮮総督府です。
問15	答え 森鷗外	森鷗外は軍医としてドイツに留学し、最先端の医学を学びました。その際に見聞した異文化への驚きや、ドイツ人女性との恋と別れを題材にした小説『舞姫』を書き上げ、日本文学史上に名を残しました。医学者として軍の医療体制改善にも尽力した多才な人物です。
問16	答え 貴族院	貴族院は、皇族・華族のほか、多額納税者や勅選議員によって構成されました。衆議院とは異なり、選挙を経ずに選ばれるため、政府の意向を反映しやすく、議会の中でも保守的な役割を担いました。
問17	答え 八幡製鉄所	1901年に操業を開始した「八幡製鉄所」は、当時の製鉄技術の粋を集めた大規模な工場でした。ここでの鉄鋼生産は、日本の重工業発展の礎となり、鉄道や造船、軍備の近代化に大きく貢献しました。
問18	答え ビゴー	ビゴーは日本に滞在し、当時の政治や社会現象を独特のユーモアと鋭い風刺を込めて描き続けました。特に、強国への仲間入りを急ぐ日本政府の姿勢や、不平等条約改正をめぐる駆け引きなどをテーマにした作品は非常に有名です。

- 問1 1872年、日本で初めて鉄道が開通した際の起点は新橋でしたが、終点はどこ？
- 問2 政府を去った板垣退助らが、専制政治を批判して国会の開設を求めた建白書が提出されたのは何年？
- 問3 八幡製鉄所の建設費用として、政府が活用した戦争の賠償金は何か？
- 問4 明治時代に、日本の伝統的な美術を継承し、新しい芸術を育てるために設立された学校を何という？
- 問5 明治政府が欧米の制度を視察し、不平等条約の改正交渉を行うために派遣した使節団を何という？
- 問6 イギリス船が沈没した際、日本人乗客が見捨てられ、船長が日本の法律で裁けず軽い刑で済まされたことで、条約改正の世論が高まるきっかけとなった事件を何という？
- 問7 納税額など一定の条件を満たした人のみに選挙権を与える制度を何という？
- 問8 1912年に中華民国が建国された際、その首都とされた都市はどこ？
- 問9 明治時代末期に外務大臣として条約改正に尽力した政治家は誰ですか？（※本問題は力テゴリ上の制約により、役職ではなく人物名を指す設問として再構築）
- 問10 福岡県北九州市で操業を開始した、日本初の本格的な官営製鉄所が完成したのは西暦何年？
- 問11 明治政府が産業の近代化を進めるため、欧米の技術を導入して群馬県に設立した官営模範工場を何という？
- 問12 日露戦争中に日本海海戦で活躍した、連合艦隊の旗艦となった日本の軍艦を何という？
- 問13 明治政府が欧米諸国に対し、日本が近代国家として対等であることを示し、改正を目指した条約を何という？
- 問14 自由党や立憲改進黨などが、政府に対して強く要求した、国民の代表による会議を開くための目標を何という？
- 問15 第一次世界大戦において、日本が参戦する根拠となった、1902年にイギリスと結んだ同盟を何という？
- 問16 明治時代後半に、製糸業や紡績業が中心となって進んだ社会の技術・経済的な転換を何という？
- 問17 日露戦争の講和条約に不満を持った国民が集まり、暴動へと発展した東京の集会場所を何という？
- 問18 明治政府が改正を目指し、欧化政策の象徴として建設された施設は、何というもののとの交渉を有利に進めるために建てられた？
- 問19 明治時代、群馬県に建てられ、海外輸出用の生糸を生産した最初の官営模範工場を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 横浜	1872年、新橋（現在の汐留）と横浜（現在の桜木町）の間で、日本初の鉄道が開通しました。この鉄道はイギリスの技術を取り入れて建設され、当時は蒸気機関車が走り抜ける姿が人々に強い衝撃を与えました。鉄道の開通により、人や物の移動が劇的に速く、便利になりました。
問2	答え 1874年	1874年に板垣退助や後藤象二郎らが提出したのが「民撰議院設立建白書」です。これは、特定の藩出身者による独裁的な政治（有司専制）を批判し、国民が選んだ議員による議会を作ることの必要性を訴えた文書でした。
問3	答え 日清戦争	政府は、この日清戦争の賠償金を、近代的な工業化を推進するための軍備増強や製鉄所の建設といった国家プロジェクトに集中的に投資しました。これにより、1901年に八幡製鉄所が建設され、本格的な製鉄生産が始まりました。
問4	答え 東京美術学校	岡倉天心やアーネスト・フェノロサの協力のもと、1887年に東京美術学校が設立されました。ここでは日本の伝統的な日本画の技法を学びつつ、新しい時代の表現を模索する指導が行われました。
問5	答え 岩倉使節団	1871年、岩倉具視を特命全權大使として、木戸孝允や大久保利通ら政府の主要メンバーが欧米へ派遣されました。彼らはアメリカやヨーロッパ諸国を巡り、進んだ産業や政治制度を学びましたが、条約改正の交渉は相手国の理解を得られず失敗に終わりました。
問6	答え ノルマントン号事件	1886年、和歌山県沖でイギリス船ノルマントン号が沈没しました。外国人乗組員は救命ボートで助かりましたが、日本人乗客は全員溺死しました。領事裁判の結果、船長がわずかな刑罰で済んだことに日本国民は激怒し、不平等条約の即時撤廃を求める世論が全国的に沸騰しました。
問7	答え 制限選挙	制限選挙は、直接国税の納付額などによって有権者を絞り込む仕組みです。明治初期の衆議院議員選挙では、高額納税者のみに投票権が認められていました。これは、当時の政府が「経済的基盤を持つ者に政治を任せるべきだ」と考えたためです。しかし、この制度は一部の階層の意見のみを反映するものとして、次第に反対運動が起こるようになりました。
問8	答え 南京	1912年1月1日、孫文が中華民国の臨時大總統に就任し、南京を首都と定めて政府が樹立されました。これはアジア初の共和国として、非常に象徴的な出来事でした。
問9	答え 小村寿太郎	小村寿太郎は外務大臣として、領事裁判権の撤廃や関税自主権の回復に向けた困難な交渉を主導しました。その卓越した外交手腕は日本の国際的地位を大幅に引き上げました。
問10	答え 1901年	日清戦争の賠償金などを元手に、福岡県の北九州に建設された八幡製鉄所が1901年に操業を開始しました。原料の鉄鉱石を中国から輸入し、燃料の石炭を筑豊炭田から運ぶのに適した場所が選ばれました。これが日本における本格的な鉄鋼生産の始まりです。
問11	答え 富岡製糸場	富岡製糸場は、1872年に群馬県に設立された官営の模範工場です。フランスから指導者を招き、最新の製糸機械を導入して大量生産を行いました。これにより、日本の製糸技術は飛躍的に向上しました。
問12	答え 軍艦三笠	1905年の日本海海戦において、東郷平八郎率いる連合艦隊の旗艦として「軍艦三笠」は中心的な役割を果たしました。この勝利により、日本は制海権を完全に確保することができました。
問13	答え 不平等条約	明治政府にとって、これらの不平等な内容を改めることは「国家の独立」に関わる最大の外交課題でした。政府は、日本が欧米並みの法整備や文化を取り入れたことを証明し、条約改正の交渉を粘り強く進めました。
問14	答え 国会開設	板垣退助の「民撰議院設立の建白書」をきっかけに、国会開設を求める動きが全国的に広がりました。自由党や立憲改進党といった政党が結成され、政府に対して議会を作るよう激しく要求しました。
問15	答え 日英同盟	1902年に締結された日英同盟は、両国の利害を調整し、アジアでの協調を図るための同盟でした。1914年に第一次世界大戦が勃発すると、日本はこの同盟を理由に連合国側として参戦し、東アジアでの影響力を強めました。
問16	答え 産業革命	製糸業や紡績業といった軽工業を中心に、機械を使った大量生産が普及しました。この急速な工業化により、日本の産業構造は農業中心から工業中心へと大きく変わりました。しかし、その陰では工場で働く労働者の過酷な労働環境が社会問題となりました。
問17	答え 日比谷公園	1905年9月、東京の日比谷公園で開かれた講和反対国民大会がきっかけとなり、群衆が暴徒化して周辺の警察署や新聞社を襲撃しました。これを日比谷焼打ち事件と呼びます。
問18	答え 不平等条約	不平等条約には、外国人が日本で罪を犯しても日本の裁判で裁けない領事裁判権や、日本が独自の関税を決められない関税自主権の欠如が含まれていました。
問19	答え 富岡製糸場	1872年、政府は群馬県に富岡製糸場を建設しました。フランスから技術者を招き、最新の繰糸機を導入して高品質な生糸の大量生産を行いました。全国から工女が集められ、ここで学んだ技術が各地の製糸工場へ伝えられました。

- 問1 1911年に日米通商航海条約を調印し、関税自主権の完全回復を達成した外務大臣は誰？
- 問2 明治時代、日本で急速に進んだ工業化において、輸出の主力となった軽工業の中心となった産業を何という？
- 問3 鉄鋼業や機械工業などの産業を育成し、国の経済力と軍事力を強化するために明治政府が掲げた目標を何という？
- 問4 明治政府が日本で最初の近代的な学校制度である「学制」を公布した年はいつ？
- 問5 明治政府が設立し、当初は日本画が中心でしたが、後に西洋画の教育も取り入れるようになった美術教育機関を何という？
- 問6 岡倉天心が日本美術の振興を目的として設立に貢献した、現在まで続く芸術教育機関を何という？
- 問7 田中正造が議員辞職後に直訴を試みた、当時の日本の君主は誰？
- 問8 大日本帝国憲法下において、帝国議会などが担った国の法律を作る働きを何という？
- 問9 板垣退助らが中心となって展開された、憲法の制定や議会（国会）の開設を求める運動を何という？
- 問10 福沢諭吉がその著書の中で説いた、人間は生まれながらにして平等であり、自立した人間としての精神を持つべきだという考えを何という？
- 問11 『天は人の上に人をつくらず、人の下に人をつくらず』という言葉で有名な、明治初期の啓蒙書を著した人物は誰？
- 問12 帝国議会における二院制のうち、国民の代表として選挙で選ばれた側の議院を何という？
- 問13 1872年に群馬県に設立され、生糸の増産を通じて輸出拡大に貢献した官営模範工場を何という？
- 問14 1875年に日本とロシアの間で結ばれ、千島列島と樺太の領有権を交換した条約を何という？
- 問15 明治時代に日本の近代化を支える主要な輸出品であった、カイコから作られる糸を何という？
- 問16 1871年、プロイセンを中心に成立し、岩倉使節団が欧米へ派遣されていた時期に誕生した国を何という？
- 問17 明治時代に政府によって建設された、日本初の本格的な官営製鉄所を何という？
- 問18 明治政府が改正を目指し、欧化政策の象徴として建設された施設は、何というもののとの交渉を有利に進めるために建てられた？
- 問19 下関条約で日本が獲得したが、三国干渉により清に返還させられた半島を何という？
- 問20 1912年に中華民国が建国された際、その首都とされた都市はどこ？

答え合わせ・解説

問1	答え 小村寿太郎	外務大臣であった小村寿太郎は、諸外国と粘り強く交渉を重ねました。1911年にアメリカなどの各国と新たな通商航海条約を結ぶことで、ついに日本は関税自主権の完全回復を達成しました。
問2	答え 製糸業	製糸業は、日本の伝統的な技術と機械化を組み合わせることで発展しました。特に長野県などの蚕糸業が中心となり、輸出用の生糸を大量生産することで、日本にとって重要な外貨獲得源となりました。
問3	答え 富国強兵	富国強兵は、殖産興業と並んで明治政府の最重要スローガンでした。徴兵令による軍備の近代化と、官営工場による重工業の育成が両輪となって進められました。
問4	答え 1872	1872年に公布された「学制」は、フランスの制度を参考しつつ、全国に小学校を建設して国民全員に教育を受けさせることを目指すものでした。
問5	答え 東京美術学校	東京美術学校は、岡倉天心らの尽力により設立されました。初期は日本画を中心に教育していましたが、時代のニーズに合わせて西洋画の学科も設置され、日本美術と西洋美術を同時に学べる環境が整えられました。
問6	答え 東京美術学校	岡倉天心はフェノロサらと共に、日本独自の伝統的な芸術技法を継承・研究し、新しい日本画を創造することを目指しました。その拠点として1889年に設立されたのが東京美術学校です。
問7	答え 明治天皇	1901年、田中正造は議員を辞職した上で、当時の「明治天皇」へ直接被害の惨状を訴える直訴状を提出しようと試みました。これは国民が直接国家の最高権力者に訴えかけるという極めて異例かつ決死の行動でした。
問8	答え 立法	大日本帝国憲法下では、立法権は天皇に属し、その協力機関として帝国議会が設置されました。議会は法律の案を審議・承認することで、国家の仕組みやルールを整備する役割を担いました。
問9	答え 自由民権運動	自由民権運動は、憲法の制定や国会の開設を要求する運動です。板垣退助が「民撰議院設立建白書」を提出したことをきっかけに、全国で演説会が開かれ、多くの人々が署名活動などに参加しました。
問10	答え 個人の独立	福沢諭吉は、『学問のすゝめ』の中で「個人の独立」を強く説きました。これは単に親から自立するだけでなく、国家という組織の中で一人の自立した市民として考え、行動することを意味しています。そのためには、西洋の学問や知識を学び、自分の頭で考える力を持つことが不可欠だと主張しました。
問11	答え 福沢諭吉	福沢諭吉は、慶應義塾を創設し、近代的な思考の普及に尽力しました。著書『学問のすゝめ』は、個人の独立には知識が必要であることを訴え、国民の間に大きな反響を呼びました。彼が説いたのは、単なる暗記ではなく、実生活や社会に役立つ実学的重要性でした。
問12	答え 衆議院	二院制のうち、衆議院は国民の選挙権を持つ人々の投票によって選ばれた議員で構成されました。これに対し、貴族院は華族や勅任議員で構成され、国民の直接的な選択とは異なる形で設置されました。
問13	答え 富岡製糸場	1872年に群馬県富岡市に完成した富岡製糸場は、フランスから技術者や最新の繰糸器械を招いた政府直営のモデル工場です。全国から集められた女工たちが最新技術を学び、ここで身につけた技術が全国へ広がりました。
問14	答え 樺太・千島交換条約	樺太・千島交換条約は、千島列島を日本領、樺太をロシア領とすることで両国間の領土問題を解決した条約です。この合意により、日本は北方の防衛や漁業権の確保における境界をはっきりとさせることができました。
問15	答え 生糸	日本は古くから養蚕が盛んであり、製糸技術を改良して質の高い生糸を大量生産しました。この生糸はアメリカなどへの輸出で外貨を稼ぎ、日本の近代化を強力に支える主要な輸出品となりました。
問16	答え ドイツ帝国	ドイツ帝国は強力な君主権を持つ国家であり、産業革命の急速な発展とともに軍事力も強化しました。その中央集権的で強固な政治体制は、近代国家への脱皮を図っていた当時の日本にとって、西洋のモデルとして非常に魅力的に映りました。
問17	答え 八幡製鉄所	1901年、福岡県に八幡製鉄所が操業を開始しました。日清戦争の賠償金を建設費に充て、中国から鉄鉱石を輸入し、国内の石炭を利用するという立地条件の良さを活かした大規模な工場でした。
問18	答え 不平等条約	不平等条約には、外国人が日本で罪を犯しても日本の裁判で裁けない領事裁判権や、日本が独自の関税を決められない関税自主権の欠如が含まれていました。
問19	答え 遼東半島	下関条約で獲得した遼東半島ですが、これにロシアが激しく反発しました。南下政策を進めるロシアにとって、日本がここに拠点を築くことは許しがたいことだったため、ドイツとフランスを誘って日本に返還を勧告しました。これを三国干渉と呼びます。結果、日本は返還を余儀なくされました。
問20	答え 南京	1912年1月1日、孫文が中華民国の臨時大總統に就任し、南京を首都と定めて政府が樹立されました。これはアジア初の共和国として、非常に象徴的な出来事でした。

- 問1 1911年に制定され、年少者や女性の労働時間などを制限した法律を何という？
- 問2 明治時代に日本の主要な輸出品となり、アメリカへの輸出で近代化を支えた繊維製品は何？
- 問3 1911年に日米通商航海条約を調印し、関税自主権の完全回復を達成した外務大臣は誰？
- 問4 義務教育の普及により日本国民の間で高まった、文字の読み書きができる能力の割合を何という？
- 問5 鉄鋼業や機械工業などの産業を育成し、国の経済力と軍事力を強化するために明治政府が掲げた目標を何という？
- 問6 1885年の内閣制度発足に伴い、初代内閣総理大臣に任命された人物は誰？
- 問7 第一次世界大戦中に、日本の輸出額が急増し、経済が著しく成長した現象を何という？
- 問8 明治時代、企業による生産活動が拡大し、工場での大量生産が広まった経済の仕組みを何という？
- 問9 中国の孫文が提唱した、民族の独立、民権の伸長、民生の安定を柱とする革命の思想を何という？
- 問10 小村寿太郎が欧米との交渉に成功し、関税自主権を完全に回復した年はいつ？
- 問11 『学問のすゝめ』を著し、個人の自由や独立の精神を説いた明治時代の思想家は誰？
- 問12 明治時代の日本の産業革命において、主に若い女性が過酷な長時間労働を強いられた場所はどこ？
- 問13 大日本帝国憲法に基づき、日本で初めて衆議院議員総選挙が行われたのは何年？
- 問14 足尾銅山鉱毒事件の解決を求め、政府に対して命をかけて訴えた政治家は誰？
- 問15 八幡製鉄所が鉄鉱石の調達先としていた国はどこ？
- 問16 明治時代、中央集権的な政治体制を確立するために1885年に設置された、大臣をまとめて行政を行う組織を何という？
- 問17 大日本帝国憲法において、統治権の主体であり、主権者とされた存在は誰（何か）？
- 問18 富岡製糸場に代表される、繊維工業を中心とした初期の産業分類を何という？
- 問19 日清戦争後の講和条約を何という？
- 問20 1890年に初めて開設された、日本の立法機関となる議会を制定した憲法を何という？
- 問21 板垣退助らが政府に対して批判した、一部の特権層が政治を独占する状態を何という？
- 問22 伊藤博文が大日本帝国憲法の草案を作成する際、参考にされたドイツの憲法を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 工場法	1911年に制定された工場法は、特に労働条件が厳しかった女性や年少者を対象に、深夜業の禁止や労働時間の制限などを定めました。これは、日本における労働者を保護するための初めての法律として画期的な出来事でした。
問2	答え 生糸	製糸工場で生産された生糸は、アメリカなどの欧米諸国で需要が高く、日本の主要な輸出品となりました。この輸出で得られた資金が、工場や軍の整備など、日本の近代化のための莫大な費用を支えました。
問3	答え 小村寿太郎	外務大臣であった小村寿太郎は、諸外国と粘り強く交渉を重ねました。1911年にアメリカなどの各国と新たな通商航海条約を結ぶことで、ついに日本は関税自主権の完全回復を達成しました。
問4	答え 識字率	学制の発布やその後の義務教育制度の普及により、日本全国で小学校教育が展開されました。その結果、全国民が読み書きの能力を身につけるようになり、識字率が劇的に向上しました。高い識字率は、近代技術の習得や新しい思想・文化の吸収を容易にし、日本の急速な近代化を可能にする大きな要因となりました。
問5	答え 富国強兵	富国強兵は、殖産興業と並んで明治政府の最重要スローガンでした。徴兵令による軍備の近代化と、官営工場による重工業の育成が両輪となって進められました。
問6	答え 伊藤博文	伊藤博文は、岩倉使節団の一員として欧米を視察し、帰国後は憲法制定や内閣制度の導入に主導的な役割を果たしました。1885年、新しい内閣制度のトップである「初代内閣総理大臣」に就任し、日本の近代政治体制の枠組みを構築しました。
問7	答え 大戦景気	その穴を埋める形で日本からの輸出が飛躍的に増加し、造船や海運をはじめとする産業が空前の好景気に沸きました。この時期、成金と呼ばれる富裕層が登場するなど、経済構造が大きく変化しました。
問8	答え 資本主義	資本主義は、企業が資本を投下して機械による大量生産を行い、市場で商品を売って利潤を追求する経済体制です。鉄道網の整備や銀行の設立がこれを支えました。
問9	答え 三民主義	孫文は、民族の独立（民族）、民主政治の実現（民権）、国民生活の安定（民生）の3つを掲げる「三民主義」を打ち出しました。これは中国の民主化と革命の指針となりました。
問10	答え 1911	1911年、外務大臣であった小村寿太郎は、懸命な外交努力の末に欧米諸国との交渉をまとめ上げました。これにより、日本は自国の関税率を自由に決める権利を完全に取り戻し、長年の悲願であった不平等条約の改正を成し遂げました。
問11	答え 福沢諭吉	慶應義塾の創設者である福沢諭吉は、著書『西洋事情』を通じて、人間の平等や個人の自立の重要性を説きました。西洋の新しい知識や学問を広く伝えることで、日本の近代化に多大な貢献を果たしました。
問12	答え 紡績工場	紡績工場は、綿を糸にするための大型の紡績機械が並ぶ近代的な工場でした。効率を追求するあまり、主に農村から集められた若い女性たちが、非常に低い賃金で1日10時間を超える長時間労働を強いられました。
問13	答え 1890	憲法に基づき、翌1890年に初めての衆議院議員総選挙が実施されました。この選挙は、一定額以上の直接国税を納める満25歳以上の男子にのみ選挙権が与えられた、制限選挙でした。
問14	答え 田中正造	田中正造は栃木県出身の政治家として、被害農民の先頭に立って政府に救済を求めました。国会で何度も質問を行い、最後には天皇に直接訴える「直訴」を試みるほど、この問題の解決に生涯を捧げました。「亡国」という言葉を用いて、国の政策が国民を犠牲にしていると厳しく指摘したことで知られています。
問15	答え 中国	八幡製鉄所は、当時の清（中国）にある大冶鉄山などから鉄鉱石を調達しました。地理的に距離が近く、海上輸送が容易であったため、安定した原料供給体制を整えることができました。これにより、日本の製鉄業は順調に生産量を伸ばすことができました。
問16	答え 内閣制度	内閣制度は、内閣総理大臣と各省の大臣で構成される組織です。伊藤博文が初代内閣総理大臣に任命され、国の行政を統括しました。
問17	答え 天皇	大日本帝国憲法では、天皇を統治権の総攬者と位置づけました。天皇は軍の指揮権を持つ統帥権や、国会を開いたり解散したりする権限など、非常に強い力を持っていました。国民は「臣民」と呼ばれ、あくまで天皇の統治の下で制限付きの権利を認められる存在でした。
問18	答え 軽工業	軽工業とは、重工業に対して比較的小規模な資本や機械で行われる製造業を指します。明治時代初期の日本においては、特に製糸や綿織物といった繊維産業が中心となって輸出を支え、国家の近代化を強力に牽引しました。
問19	答え 下関条約	1895年に山口県下関で、伊藤博文と李鴻章によって調印されました。主な内容は、清が朝鮮の独立を認めること、台湾・遼東半島・澎湖諸島を日本に割譲すること、巨額の賠償金を支払うことなどでした。
問20	答え 大日本帝国憲法	1889年に発布された大日本帝国憲法は、天皇を国家の元首とし、国民の権利は法律の範囲内で認められるものでした。翌年、これに基づき衆議院と貴族院からなる帝国議会が開設されました。
問21	答え 有司専制	板垣退助らは、明治政府が少数の特定勢力によって独占されているとして「有司専制」と呼び批判しました。彼らは、国民の声を政治に反映させるために民選議院（選挙で選ばれた議員による議会）の開設が必要だと主張しました。
問22	答え プロイセン憲法	伊藤博文らは欧米の諸国を調査し、中でも皇帝の権限が強いドイツのプロイセン憲法を高く評価しました。この憲法を参考に、天皇が統治権を総攬し、臣民の権利を法律の範囲内で認めるという内容の「大日本帝国憲法」が1889年に発布されました。

- | | |
|-----|---|
| 問1 | 足尾銅山鉱毒事件の解決を求め、政府に対して命をかけて訴えた政治家は誰？ |
| 問2 | 自由民権運動の高まりを受けて、政府が国会開設を正式に約束した公的な文書を何とい
いますか？ |
| 問3 | 八幡製鉄所などが発展を支えた、鉄鋼や機械などを作る大きな産業分野を何という？ |
| 問4 | 自由民権運動の中で、国民の意見を政治に反映させるために開設が求められた機関を何
という？ |
| 問5 | 1889年に発布された、アジアで初めての近代的な憲法を何という？ |
| 問6 | 明治時代の江華島事件や日朝修好条規の締結により、日本が外交的な影響力を強めた対
象の国をどこという？ |
| 問7 | 板垣退助が中心となって結成された、日本最初の本格的な政党を何という？ |
| 問8 | 1905年、日露戦争後の韓国を保護国化するために日本が結んだ条約を何という？ |
| 問9 | 日清戦争の講和条約で、日本が清から割譲された中国東北部の半島を巡る条約の名称
は？ |
| 問10 | 個人の感情や個性を尊重する、与謝野晶子らの文学思潮を何という？ |
| 問11 | 黒田清輝の代表作であり、ある湖の情景を描いた作品の題材となった場所はどこ？ |
| 問12 | 明治時代、天皇の相談に応じ国の重要事項を審議する最高機関として設置されたものは
何？ |
| 問13 | 明治時代に、不平等条約の改正や国会の開設などを求めて展開された政治的な運動を何
という？ |
| 問14 | 1885年の内閣制度発足に伴い、初代内閣総理大臣に任命された人物は誰？ |
| 問15 | 日清戦争後に日本が獲得した遼東半島を清に返還するよう、ロシアやフランスとともに
日本に圧力をかけた出来事を何という？ |
| 問16 | 君主の権力が強いプロイセンの憲法を参考に、明治政府が作成を進めた憲法を何とい
う？ |
| 問17 | 足尾銅山鉱毒事件で、鉱毒により汚染された栃木県や群馬県を流れる川を何という？ |
| 問18 | 日露戦争の講和のために結ばれた条約を何という？ |
| 問19 | 明治時代末期の1911年に、過酷な労働条件から労働者を守るために制定された最初の法
律を何という？ |
| 問20 | 明治時代の工業化の進展により、輸入に頼っていた状況から国内で自給できるようにな
り、やがて輸出品へと変化した繊維製品を何という？ |
| 問21 | 外務大臣として、日本を悩ませていた領事裁判権の撤廃に成功した人物は誰？ |
| 問22 | ペスト菌の発見や血清療法の開発など、細菌学の分野で世界的に活躍した医学者は誰？ |

答え合わせ・解説

問1	答え 田中正造	田中正造は栃木県出身の政治家として、被害農民の先頭に立って政府に救済を求めました。国会で何度も質問を行い、最後には天皇に直接訴える「直訴」を試みるほど、この問題の解決に生涯を捧げました。「亡国」という言葉を用いて、国の政策が国民を犠牲にしていると厳しく指摘したことで知られています。
問2	答え 国会開設の詔	1881年、政府は国会開設の詔（国会開設の勅諭）を出し、10年後の1890年に国会を開くことを約束しました。これにより、政治の枠組みを憲法に基づいたものに変える準備が始まりました。
問3	答え 重工業	八幡製鉄所の操業は、造船や機械製造といった重工業を発展させる土台となりました。これまでの製糸や紡績などの軽工業から、大規模な設備と高い技術が必要とする産業への転換が図られたのです。
問4	答え 国会	自由民権運動において、板垣退助らは政治に民意を反映させるために、国民が選んだ議員による議会である「国会」の開設を強く求めました。国民には政治に参加する権利があるという考え方が社会に広まりました。
問5	答え 大日本帝国憲法	1889年2月11日に発布されたこの憲法は、天皇を国家の元首とし、立法・行政・司法の権利を天皇が持つと決めました。同時に、議会（帝国議会）の開設を規定し、国民にも一定の権利が認められました。これにより日本は近代的な立憲国家としての体裁を整えました。
問6	答え 朝鮮	1875年の江華島事件の後、1876年に日本は朝鮮と日朝修好条規を結びました。これにより朝鮮は開国し、日本は朝鮮国内での権益を確保しました。これは日本にとって、アジアで他国に影響力を行使する最初の経験となりました。
問7	答え 自由党	1881年、板垣退助らは「自由党」を結成しました。これは、国民の政治参加と憲法制定を掲げた日本で最初の本格的な政党です。板垣は党首として運動を率い、各地で演説会を開いて自由民権運動を盛り上げました。
問8	答え 第二次日韓協約	1905年に結ばれたこの協約により、日本は韓国の外交権を奪いました。また、韓国を管理するためにソウルに「統監府」が置かれ、伊藤博文が初代統監に就任しました。これにより、韓国は実質的に日本の保護国となりました。
問9	答え 下関条約	1895年4月に調印され、日本側全権として伊藤博文と陸奥宗光が参加しました。この条約で日本は巨額の賠償金と、台湾・遼東半島・澎湖諸島を獲得しました。
問10	答え ロマン主義	個人の自由な感情や情熱を解き放つことを目指す思想です。与謝野晶子の歌集『みだれ髪』などは、この思潮を代表する作品として知られています。
問11	答え 芦ノ湖畔	黒田清輝の代表作「湖畔」は、箱根の芦ノ湖畔で描かれました。作品には、妻である照子をモデルにした女性が描かれており、光の当たり方や水面の輝きなど、フランスで学んだ印象派の技法が見事に調和しています。従来の暗い色調の洋画とは異なり、明るく透明感のある空気が表現されているのが特徴です。
問12	答え 枢密院	1888年に設置された「枢密院」は、憲法制定や緊急の政治課題について天皇の相談に応じ、合議で意見を述べる最高諮問機関でした。内閣よりも上の格付けとされることも多く、政治的に非常に強い影響力を持ちました。
問13	答え 自由民権運動	板垣退助らが国会開設の建白書を提出したことを皮切りに、全国で憲法制定や国民の権利を求める運動が拡大しました。言論の自由を主張し、欧米の政治思想を取り入れた活動が盛んに行われました。
問14	答え 伊藤博文	伊藤博文は、岩倉使節団の一員として欧米を視察し、帰国後は憲法制定や内閣制度の導入に主導的な役割を果たしました。1885年、新しい内閣制度のトップである「初代内閣総理大臣」に就任し、日本の近代政治体制の枠組みを構築しました。
問15	答え 三国干渉	ロシアはフランス・ドイツを誘い、日本に対して領土の返還を強く求めました。当時の日本の軍勢力では、三力国を同時に相手にすることは不可能であったため、日本は渋々ながら遼東半島を清に返還しました。
問16	答え 大日本帝国憲法	中心人物となった伊藤博文は、君主権が強く、議会の権限が抑えられたドイツ（プロイセン）の憲法を高く評価しました。その結果、1889年に発布された大日本帝国憲法では、天皇が統治権をもち、陸海軍の統帥権なども天皇に属するという体制が規定されました。
問17	答え 渡良瀬川	銅山から流出した鉱毒は、渡良瀬川の水を汚染し、その川から水を引き込んでいた広大な農地や水田に深刻な被害を与えました。作物は枯れ、川の水も死滅するなど、生態系全体が破壊される事態となりました。
問18	答え ポーツマス条約	この条約により、日本はロシアから韓国での指導権を認められ、旅順・大連の租借権や南樺太の割譲を獲得しました。しかし、国民が期待していた賠償金は全く得られませんでした。
問19	答え 工場法	工場法は、特に被害を受けやすかった女性や年少者の労働時間を制限し、危険な仕事への就業を禁止するなど、労働環境の改善を目指した法律です。
問20	答え 綿糸	紡績業の発展により、日本国内で綿糸を大量に生産できるようになりました。これにより、輸入に頼っていた状態から脱却し、むしろ海外へ輸出するほどの主要な輸出品へと成長を遂げました。
問21	答え 陸奥宗光	陸奥宗光は外務大臣として、イギリスとの間で日英通商航海条約を調印しました。この交渉により、ついに領事裁判権の撤廃を認めさせました。これは日本が西洋列強と対等な外交関係を築き始める大きな一歩となりました。
問22	答え 北里柴三郎	ドイツに留学してコッホに師事した北里柴三郎は、破傷風の血清療法を世界で初めて開発し、帰国後にはペスト菌を発見するなど世界を驚かせる業績を挙げました。医学教育や防疫の仕組みづくりにも尽力しました。